

市議会だより

大月市

令和8年8月31日発行 No.183

市立図書館 / 親子でお泊り図書館

CONTENTS

- ・ 令和8年第3回（6月）市議会定例会
（主な議案の内容）…………… P. 2～
- ・ 議決結果等一覧表 …………… P. 4
- ・ 代表質問／一般質問 …………… P. 5～
- ・ 初狩小学校校内視察について …… P. 12
- ・ 議員合同研修会（前期 …………… P. 12
- ・ 議会日誌 …………… P. 14



図書に親しむ親子

こんな事が決まりました

6月5日～6月26日（22日間）

今定例会の議案



市長提出

● 報告	1件
● 補正予算案件	2件
● その他の案件	2件
● 人事案件	2件

主な議案の内容

報告

専決処分事項として条例および補正予算案件8件について承認

◎専決処分事項について承認を求める件

・法律、政令等の改正、公布に伴う条例案件の専決処分事項について報告を受け承認。

・年度末補正等による補正予算の専決処分事項について報告を受け承認。

その他

◎契約締結の件（猿橋中学校校舎改修工事）

猿橋中学校校舎改修工事について工事契約を締結

・契約金額

2億8,160万円

・工事概要

屋上防水、外壁改修、各階トイレ改修に伴う建築工事、電気設備工事、機械設備工事

・契約相手方

関山建設・三合猿橋中学校校舎改修工事共同企業体

・契約方法 一般競争入札

人事

◎大月市関係人口・交流人口創出拠点施設指定管理者指定の件

・施設名

大月市関係人口・交流人口創出拠点施設（浅利マルチベース）

・指定管理者

合同会社ファームブリッジ大月

・指定の期間

令和8年7月1日～令和13年3月31日

◎山梨県東部地域公平委員会委員の選任について同意を求める件

・相川義美氏（都留市）を適任と判断し同意。

◎大月市農業委員会委員の任命について同意を求める件

・任期満了による新たな委員の任命に同意。



猿橋中学校（外観）

常任委員会の様子

総務産業常任委員会

登山道整備事業について

(産業観光課)

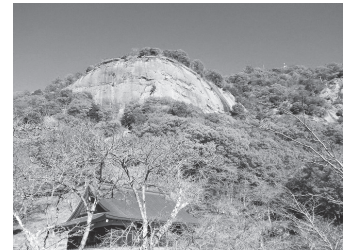
Q 岩殿ルートが開設されたが仮設の印象がある。登山道整備事業でどう変わっていくのか。

A 登山道整備は円山公園までの登山道整備で、碎石を敷く予定となっております。看板の更新も行う予定です。

Q 看板は更新でどう変わるのか。

A 岩殿山の専用駐車場の看板が薄れてきており、地図も古いままとなっております。また、登山道入口にあるふれあいの館の案内看板も写真が薄れたり、継ぎはぎをしている箇所もありますので、そういつ

た部分のリニューアルを考えております。



岩殿山

ふるさと納税について

(企画財政課)

Q ふるさと納税が前年比44%減とのことだが、今後の対応や分析は。

A 現状、かなり厳しい状況でスタートしましたが、6月に入り徐々に持ち直しております。

しかし、地場産品基準など総務省の基準が変わり、地元のもので地元で価値を出さないといけないなど条件がついてきております。令和7年は10億という目標を達成しましたが、今年はかなり厳しい状況にあるのが現実です。

社会文教常任委員会

税条例の一部を改正する条例について (税務課)

Q 条例改正による、市の財政への影響は。

A 今回の改正で、免税点の変更があり、家屋が20万円から30万円に、償却資産が150万円から180万円に引き上げられました。これに伴い、家屋は106万9,600円ほど、償却資産は29万5,000円ほど、合計136万4,600円ほどの減額を見込んでおります。

※ 免税点とは、税金がからない基準となる金額のことで、この金額に満たないときは、税金はかかりません。

所管事務事項

◆提出された議案審査だけでなく、委員会が分担する担当分野に沿って、市の取り組みや課題について議論した内容を紹介します。

QRコード納税について

(税務課)

Q QRコード納付に対応となるものがあるか。また、今後の対応は。

A 現在、後期高齢者医療保険料、介護保険料、住宅使用料がeL・QRに対応できておりませんが、令和8年9月よりeL・QRでの納付が可能になるよう準備しております。



QRコード納付 (イメージ)

認知症状があらわれた方の見守りについて (福祉介護課)

Q 認知症状があらわれた方の見守りの現状と今後の対応は。

A 大月市では、スマイルネットワーク事業でオンライン登録制度、見守り制度を行っておりますが、行方不明になった方を探すというシステムではありません。ですが、介護保険の福祉用具貸与で、外出を知らせるブザーとGPSがセットにして介護サービスを使用できる制度がございます。現在、市の助成については考えておりませんが、この介護サービスを情報提供できるような体制は整えていきたいと思っております。

令和8年第3回（6月）議決結果等一覧表

賛成 ○

反対 ●

退席 —

欠席／

※鈴木基方 議長を除く

種別	議案番号	議 員 名 案 件 名	萩原剛	奥脇一夫	小原丈司	山田善一	藤本実	山田政文	相馬力	棚本晃行	山地渉	鈴木康揮	鈴木竜児	天野築	結 果
報告	専決第3号	大月市税条例の一部を改正する条例													承認
	専決第4号	大月市国民健康保険税条例の一部を改正する条例													
	専決第5号	大月市介護保険条例の一部を改正する条例													
	専決第6号	大月市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例													
	専決第7号	令和7年度 大月市一般会計補正予算（第12号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	専決第8号	令和7年度 大月市大月短期大学特別会計補正予算（第5号）													
	専決第9号	令和7年度 大月市国民健康保険特別会計補正予算（第5号）													
	専決第10号	令和7年度 大月市介護保険特別会計補正予算（第4号）													
補正 予算	第34号	令和8年度 大月市一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第35号	令和8年度 大月市介護保険特別会計補正予算（第1号）													
その他	第36号	契約締結の件（猿橋中学校校舎改修工事）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第37号	大月市関係人口・交流人口創出拠点施設指定管理者指定の件													
人事	第38号	大月市農業委員会委員の任命について同意を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	第39号	山梨県東部地域公平委員会委員の選任について同意を求める件													



市政を問う



市議会のページは
こちらから



大月市議会
YouTube
チャンネルは
こちらから

6月定例会

代表質問・一般質問

代表質問・一般質問とは、市の行政事務の状況や将来に対する方針などをただし
たり、報告を求めたりするもので、各定例会で行われます。

代表質問

(1) 山地 渉 議員 (市民とともに歩む会) 6 ページ

- ①富士山の眺望を生かす方法は
- ②クリーリングシェルターをコミュニティハブとして利用する考えは

(2) 山田政文 議員 (市民とともに歩む会) 関連質問 7 ページ

- ①大月短大の定員割れに伴う減収額と財政負担は
- ②児童減少に伴う超小規模校の課題と適正配置は

(3) 棚本晃行 議員 (山と川の街大月) 8 ページ

- ①家族介護者支援の充実を
- ②大月3丁目の市道整備について市の見解は

一般質問

(4) 藤本 実 議員 9 ページ

- ①賃上げ実施企業への奨励金制度の創設を
- ②初狩保育所等整備事業の再提案が遅れている理由をどう認識しているか

(5) 鈴木康揮 議員 (公明党 所属) 10 ページ

- ①人と動物が共生できる地域づくりについて伺う
- ②老朽化した火葬場の今後の対策と広域連携について

(6) 鈴木竜児 議員 (市民とともに歩む会) 11 ページ

- ①協定締結している団体・企業との連携について

本文は要旨の掲載であり、質問者自身が責任を持って作成したものです。

詳しい内容については、会議録(9月上旬公表予定)を図書館及び市のホームページで閲覧することができます。また、大月市議会 YouTube チャンネルで映像配信も行っております。



市民とともに歩む会

やまじ 山 地
わたる 渉

Q 富士山の眺望を生かす方法

A 岩殿山の魅力を発信、むすび山山頂周辺、登山道整備を進める

問

下吉田駅から徒歩1時間で往復できる忠霊塔は、外国からの旅行者であふれている。

大月市では岩殿山丸山公園・むすび山聴音壕も大月駅から徒歩1時間で往復できる。富士山の眺望を生かす方法、岩殿山丸山公園、むすび山聴音壕のPRの方法について考えを

答 産業建設部長

伺う。

岩殿山の登山を目的に来る登山者に加えて、大月駅周辺にて多少の時間に余裕がある観光客等に対してアプローチできるよう、観光協会と連携してSNSなどを活用して岩殿山の魅力を発信してまいります。

むすび山につきましては、山頂周辺の立木を整備することで富士山の眺望も期待できることであります。山頂周辺には複数の土地所有者がいることから今後、関係者のご理解をいただきながら、山頂周辺、登山道の整備を進めてまいりたいと考えております。

再質問

問

大月駅駅ナカの旅行者に対しての直接的にPRする方法や海外のインフルエンサーの活用についての考えを伺う。

答

産業観光課長

海外のインフルエンサーを活用するにあたって、ターゲットを明確にした上で効果的に発信していく必要があることから、対象エリアの特性を研究するとともに、観光協会と連携しながら今後の活用方策について検討してまいります。

Q

クーリングシェルターをコミュニティハブとして利用する考えは

A

夏の期間は涼みどころとして開放していく予定

問

国が決めた基準温度にならないとクーリングシェルターとして使えないというのではなく夏は暑いのです。クーリングシェルターをコミュニティハブとして利用することの現在の検討進捗と今後のスケジュールを伺う。

答

市民課長

現在、クーリングシェルターとして指定している公共施設につきましては、熱中症特別警戒アラートの発表の有無にかかわらず、夏の期間は涼みどころとして開放していく予定でありますので、誰でも気軽にご利用いただければと考えてお

ります。あわせて、広報やホームページ、LINEを通じて広く市民へ周知してまいります。



※ 涼み処(クールシェアスポット)はこののぼり旗が目印です。

その他の質問

問 大月市立大月短期大学について

問 義務教育について

問 防災の取り組みについて

問 広報誌について



市民とともに歩む会

やまだ まさふみ
山田 政文

Q 大月短大定員割れに伴う減収見込額と財政負担は

A 減収は約4、434万円、繰出金は2億862万円と見込む

問 定員割れによる今年度の授業料等の減収見込額、および一般会計から補填される繰出金の見込額と繰出金の許容範囲について見解を問う。

答 市長

減収見込額は、予算上授業料2、616万円、入学金

1、251万円、施設納付金567万円が不足し、計約4、434万円の収入が見込めないこととなります。仮にこの全額を通常の繰出金で措置する場合、約2億862万円となります。繰出金については明確な基準もなく、予算規模や物価変動、交付税措置の状況等にもよるため一概に許容範囲を設定することは難

しく、全体のバランスを考慮し、総合的に判断していかなければならないと考えております。

再質問

問 収入不足を安易に一般財源、繰出金で穴埋めする体質について財政規律の観点からどう感じているか問う。

答 市長

安易に穴埋めをするという気持ちは全くありません。大月短期大学を存続させ魅力ある大学となるよう、澁谷新学長とともに改革を始めており、加えて県内外の大学との間で単位互換できないかと働きかけを始めております。

Q 児童減少に伴う超小規模校の課題と適正規模は

A 中長期的な視点で適正規模と配置を検討

問 小規模校の学習環境と学校の適正規模、教育の質および地域との合意形成について問う。

答 教育長

少子化及びこれに伴う学校の小規模化については、多様な意見に触れる機会や、集団の中での社会性、協調性を育む機会が不足するという教育上の課題と同様の認識を持っております。

学校の適正規模の考え方については、国の議論を踏まえつつ、中長期的な視点で検討していく考えであり、教育の質の確保については、ICTを活用した他校との合同授業、地域人材の参画による社会性を涵養する機会の確保、宿泊学習等の合同開催などに対応しております。地域との連携や合意形成については、学校の現状も地域の方々に理解していただいた上で、地域の中での学校の重要性について議論を深めてまいりたいと考えております。

問 子供の未来のため、一歩踏み込んだ、合意形成の仕組みをどう作っていくのか問う。

答 教育次長

今後、学校の在り方について対話する際には、国の動向や近隣自治体の先進事例、児童生徒数等客観的なデータを踏まえ、各地域の特性や課題を十分に理解した上で丁寧で誠実な情報共有に努め、併せて、小中一貫教育の実践事例や特認校制度等、新たな学校の在り方についても引き続き検討してまいります。



小学校イラスト

再質問



山と川の街大月

たなもと あきゆき
棚本 晃行

Q 家族介護者支援の充実を

A 第10期介護保険計画に具
体的な施策として反映で
きるよう取り組む問 介護を必要とする方
への支援はもとより、
その暮らしを支える家
族も含め、双方を支え
る視点が重要である。
本市では、家族介護者
の現状及び課題につい
てどのように認識して
いるか。また、今後、
家族介護者への支援の
充実を図る考えはある
か。

答 福祉介護課長

家族介護者の現状につきましても、介護者のうち、70歳以上の割合が3分の1程度を占めており、老老介護の状況が明らかになっております。このような状況は、介護者自身の健康管理や介護の継続可能性に関わる重要な課題であると認識しております。

支援につきましては、家

族介護者支援の充実を図るため、まずは相談体制の充実に取り組んでまいります。調査結果から、困ったときに相談する相手として介護支援専門員が最も多くなっております。その役割の重要性が明らかとなっております。そのため、定期的に開催している介護支援専門員会議を活用し、家族に寄り添った支援が行えるよう介護支援専門員の資質向上に努めるとともに、地域包括支援センターの職員、専門職の資質向上を図り、相談体制の整備を進めてまいります。

また、介護サービス利用前の相談先として、地域包括支援センターの周知を図り、民生委員児童委員との連携を強化してまいります。

なお、本年度は第10期介護保険事業計画の策定の年であり、ご指摘いただいた家族介護者支援の充実につきます。心身の負担や経済的負担等重要な課題として認識しており、具体的な施策として計画に反映できるような十分に検討をしてまいります。

家族介護（イラスト）



Q 大月3丁目の市道整備について市の見解は

A 事業化に向けて詳細設計に着手できるよう進めていく

問 道路幅員が狭く、狭い箇所が点在している、変電所から大月東中学校入り口交差点までの区間について拡幅改良を進める必要があると考えるが、今後の市道整備について市の見解は。

答 産業建設部長

この区間には道路幅員の

狭い箇所が点在しており、車両の通行や歩行者の安全確保の面で課題があります。特に市道大月浅利線においては、車両の擦れ違いが困難な箇所があり、円滑な通行に支障を来している状況であります。今後は、周辺地区や土地所有者の意向等を確認し、国の交付金等を活用し、事業化に向けて詳細設計に着手できるよう進めてまいります。

また、ほかの狭あい箇所につきましても、土地所有者等の意向を確認し、財政状況に鑑みながら検討してまいります。

その他の質問

問 宮古橋線の整備について

問 旧富浜中学校跡地の活用について

問 教育長の目指す今後のビジョンについて

問 医療的ケアを必要とする方々への災害支援体制について



ふじもと みのる
藤本 実

Q 賃上げ実施企業への奨励金制度の創設を

A 県と協力して研究する

問 県は、中小企業の賃上げを応援するため、

山梨県賃金アップ環境改善事業費補助金を進めている。若者の市内流出が続く中、地域内の賃金水準を引き上げることは、人口減少対策としても重要だ。大月市としても奨励金制度を創設すべきと考えるが。

答 産業観光課長

議員ご提案の賃上げ実施企業への奨励金制度につきましては、地域内の賃金水準の向上を後押しし、若い世代が働き続けられる環境づくりにつながる可能性があるものとして認識しております。一方で、制度の対象や支給要件、財源の確保、既存の制度との役割分担など、整理すべき課題もあります。したがって、現時点では県の取組や市内事業者の

実情を踏まえながら、市内事業所で働いている方々の給与水準の向上につながるような支援を県と協力して研究してまいります。



Q 初狩保育所等整備事業の再提案が遅れている理由の認識は

A 改めて新たな設計作業を行う必要はない

問

議案が否決された場合、市、行政側は、問題点の整理、改善案の作成、必要に応じた計画の再構築、再提案を行う責務がある。半年

問、市から一切の改善案も再提案も出ていないがどう認識しているか。

答 副市長

初狩保育所等整備事業は、地域の保育環境を守り、子供たちの安全を確保するために必要不可欠な事業であります。本市としては、令和7年12月定例会での契約案件の否決を受け、整備内容について精査を行い、定員を40名から25名へ改めるなど計画の整理、見直しを進めてまいりました。その結果、現計画は適切な規模と必要な安全対策を備えた内容となっており、改めて新たな設計作業を行う必要はないと考えております。

また、3月に議会から示された初狩保育所等施設整備事業に係る契約議案否決後の対応についての中において、今後の対応として、市が保育需要や建設費、立地の安全性などの正確な情報を市民に提供することを求められており、これによ

り地域住民はじめ市民や議会に対し説明を行うなど、対応を進めてまいりました。本事業に関し、不安や様々な受け止めが生じていることは重く受け止めております。これまで議会が提案するリフォーム案などについても、専門家の意見を聞き、検証することなど踏まえ、事業の経緯、定員の考え方、安全対策、今後の方向性など、正確な情報を市民に提供することに努めてきており、保小連携の重要性や公立保育所の必要性などを理解いただき、事業を推進すべきと考えておりますので、改めてご賛同をよろしくお願いいたします。



すずき こうき
鈴木 康揮

公明党 所属

Q 人と動物が共生できる地域づくりについて伺う

A 令和7年度、新たに大月市地域猫活動支援事業補助金を制定した

問

人と動物が共生できる地域づくりについて
1、高齢化や管理者不在による地域猫問題への予防的対応について
2、とらばさみ等の使用禁止猟具の周知と被害の再発防止について
3、とらばさみ等による被害または設置状況について伺う。

答

市民課長

本市では、令和7年度に新たに大月市地域猫活動支援事業補助金を制定しました。これは地域猫活動を始めようとする自治会、または自治会の了承を受けたボランティア団体に対し、餌や給餌用具、捕獲器の購入費、住民への啓発資料の作成費、講習会の開催費など

を1団体当たり15万円を上限に補助するものであります。また、不妊去勢手術を目的とする方に猫保護器を無料で貸し出す事業も実施しているところであり、捕獲から手術、その後の地域への返還に至るまでの捕獲、不妊去勢、返還、いわゆるTNR活動を支援しているところであります。

次に、とらばさみ等の使用禁止猟具の周知と被害の再発防止について。

とらばさみの設置は、原則として禁止されております。また、とらばさみを使用した場合には、厳しい罰則の対象となる場合があります。本市におきましては、ポスター掲示などにより注意喚起を行ってきたところであり、今後は再発防止に向けた啓発を強化してまいります。

次に、とらばさみ等による被害、または設置状況について。市内におけるとらばさみ等の使用禁止猟具による被害及び設置の状況につきましては把握しておりません。

Q 老朽化した火葬場の今後の対策と広域連携について

A 安定的な稼働の維持。今後も研究、検討を進めたい

問

1. 現施設の老朽化の認識と今後の見通しについて。

2. 近隣市町村との広域連携による共同設置の可能性について伺う。

答 市民生活部長

現在の火葬場施設は、昭和55年度に建設し、老朽化が進んでいることは認識しております。

本市では、施設の利用に支障が生じないよう最小限の支出を念頭に、計画的な維持管理に努めております。一方で、今後の維持、改修に要する財政負担につきましては、修繕内容や時期により変動するため現時点で具体的な総額をお示しすることは困難であります。新たに建て替える場合の

費用につきましても、設置場所や規模、設備内容等により大きく異なることから現時点では算定しておりません。

今後も必要な修繕や保守点検を着実にを行い、安定的な稼働の維持に努めてまいります。

次に、近隣市町村との広域連携による共同設置の可能性について。近隣市町村との広域連携は、事務の効率化を図る上では重要な選択肢の一つであります。

一方で、施設の立地場所、費用負担、運営主体など、多くの課題があります。

近隣市町村の動向等も把握し、今後も研究、検討を進めたいと考えております。



大月市営火葬場



市民とともに歩む会

すずき りゅうじ
鈴木 竜児

Q 協定締結している団体・企業との連携について

A 協定をより生きた仕組みにつなげられるよう取り組んでいく

問 現在、幅広い分野で100件以上の協定が締結されており、そのうち、災害時の支援協定が50件以上である。この協定は非常に有効な仕組みであり、災害発生時には大きな力となると考えている。

しかしながら、現状では締結した協定が十分に活用されていると

は思えず、実際に機能する仕組みを締結先とともに構築していく必要があるのではないかと考えている。そこで、現在締結されている各種協定の見直しと、締結団体、企業との連携について、市の考えを伺う。



協定締結イメージ

答 総務管理課長

現在様々な分野において協定を締結しており、その中でも災害時における連携協定は50件を超えております。災害時における協定の内容としては、食料や医薬品等の救援物資の供給、災害時の相互応援等

が主なものであり、近年におきましては物資等の緊急輸送に関する協定も締結しております。そのような中で、今年1月の林野火災時には、協定を締結している団体、企業の皆様から、物資等の提供や消火活動に対する技術的、経済的支援など多大なご支援とご協力をいただいております。改めて感謝を申し上げます。

議員ご指摘の協定の機能的な在り方につきましては、自治体間で相互応援等の協定では、毎年、担当者により協定内容に沿った協議を重ねております。また、民間事業者との災害協定の中には、災害支援時の具体的な資機材等の確認や協議を行っているものもあります。一方で、確認や協議等が不十分なものもあります。令和6年能登半島地震など、これまでの災害時には、協定の運用手順が不明確なことからにより運用できなかった事例があったことから、国は協定の実効性を高めるためガイドラインを策定し、今年度中にも自治体に示さ

れるとのことであり、今後におきましては、協定者の間で協定内容の再確認や役割の明確化、新たな連携施策を講ずるなど、このガイドラインに沿った運用を行い、協定をより生きた仕組みにつなげられるよう取り組んでまいります。



災害連携イメージ

初狩小学校の校内視察を行いました

議会では、初狩地区子育て応援施設等整備事業について、継続して審議を行っております。その中で、学校の空き教室を活用した学童等の運用について意見がありましたので、学校施設の利用状況を確認するため、5月29日（金）に初狩小学校の校内視察を行いました。

視察には9名の議員が参加し、学校長や教育委員会から教室の利用状況などの説明を受けながら校内の視察を行いました。



初狩小学校（外観）

【 概要 】

初狩小学校では、6学年6室の普通教室や、図書室、音楽室などの特別教室が設けられており日々の授業で利用されています。授業では利用されない旧パソコン室も、児童会活動や児童のクールダウンの部屋として利用されていました。

また、体育館にエアコンが設置されていないため、気温が高く安全に活動することができない場合は、体育や運動会の練習などを特別教室などで行っているという現状もお聞きし、学校施設の利用状況と現状を確認することができました。

山梨県市議会議長会議員合同研修会（前期）

山梨県市議会議長会は、令和8年8月6日（木）に八ヶ岳やまびこホールにおいて議員合同研修会（前期）を開催しました。県内13市議会の議員、及び、事務局職員が参加し、大月市議会からは7名の議員が参加しました。

学習院大学 法学部教授 野中尚人 氏を講師に迎え、「国会の変則性と日本政治の基本問題」をテーマに講演をしていただきました。

【 要旨 】

国民代表者の機関としての国会、国会の変則性や形骸化などについて講演が行われた。日本政治の根本問題という中では、変えるべきなのか、何を変えれば良いのかについて触れられ、体制の違いによる国会機能の役割や、国会の合理化について解説がなされた。

【 感想 】

今回の研修会で最も強調されていたのが「NOT ACCOUNTABLE（隠す・選挙をごまかす）」でした。議員は有権者の代表として選挙で選ばれ、有権者の方に対する説明責任があります。

また、「質疑」と「討論」についても言及され、「討論」は自らの主張を訴えることであり、言いいっぱなしであると説明がされました。一方で、「質疑」は問いに対して答えがある対話形式です。説明するだけでなく、要望や疑問を把握し、その内容を反映できるよう今後さらに取り組んでいくよう心がけたいと思いました。



会場：八ヶ岳やまびこホール

・会派所属議員の変更

令和8年6月5日に、会派「市民とともに歩む会」萩原剛代表より、会派所属議員変更届が提出され、天野築議員が会派を脱退しました。

会派構成

◎市民とともに歩む会

・代表者

・所属議員

萩原 剛
山田 文
相馬 力
山地 政
鈴木 竜児

◎山と川の街大月

・代表者

・所属議員

奥協一 夫
小原 丈司
棚本 晃行

◎無会派議員

山田 善一
藤本 実
鈴木 基方
鈴木 康揮
天野 築

政治家からの寄附の禁止

贈らない！ 受け取らない！ 求めない！

選挙の有無に関わらず、政治家が選挙区内の人に寄附を行うことは名義のいかんを問わず特定の場合を除いて一切禁止されています。有権者が求めてもいけません。冠婚葬祭における贈答なども寄附になるので、注意してください。これらも、政治家の寄附禁止の対象となります。

地域の運動会・スポーツ大会への飲食物等の差入

お祭りへの寄附・差入

落成式・開店祝等の花輪

お歳暮・お年賀

葬儀の花輪・供花

入学祝・卒業祝

病気見舞

町内会の集会・旅行等の催物への寸志・飲食物の差入

結婚祝 ※

香典 ※

※ 政治家本人が結婚披露宴、葬式等に自ら出席してその場で行う場合は罰則が適用されない場合があります。

残暑お見舞い申し上げます



議長
副議長
議員
(監査委員)
議員

〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃

鈴木 基方
棚本 晃行
小原 丈司
萩原 剛
奥協一 夫
山田 善一
藤本 実
山田 政
相馬 力
山地 政
鈴木 康揮
鈴木 竜児
天野 築

議員は公職選挙法によりあいさつ状を出すことが禁止されています。(自筆による答礼は除く。)

議会日誌

5月

13日	大月市議会行政視察（埼玉県志木市）
14日	大月市議会行政視察（栃木県鹿沼市）
19日	議員定例懇談会
27日	全国市議会議長会定期総会
29日	議会運営委員会
	初狩小学校校内視察

6月

5日	全員協議会
	令和8年第3回（6月）市議会定例会 開会
19日	代表質問・一般質問
23日	総務産業常任委員会
	市議会広報委員会
24日	社会文教常任委員会
26日	議会運営委員会
	全員協議会
	令和8年第3回（6月）市議会定例会 閉会

7月

9日	今川トンネル建設促進同盟会総会
	臨時全員協議会
21日	議員定例懇談会
	臨時全員協議会
22日	大月・都留広域事務組合議会
29日	山梨県高速道路整備促進期成同盟会令和8年通常総会
30日	リニア中央新幹線建設促進山梨県期成同盟会令和8年度総会
	東部広域水道企業団議会定例会
	市議会広報委員会
31日	大沢トンネル開通式

8月（前半）

6日	山梨県市議会議長会議員合同研修会（前期）
	富士・東部環境事務組合議会
7日	市制施行72周年記念表彰式

◆表紙の写真

令和8年8月1日～2日にかけて、市立図書館において【親子でお泊り図書館】が行われました。10組24名の親子が参加し、図書館職員の案内による館内見学や、屋上から夜空を眺めるなど、閉館後の図書館で親子でゆっくり図書に親しむ特別な時間を過ごしました。

あなたも傍聴しませんか

議会の傍聴は、傍聴券に住所・氏名などを記入するだけで出来ます。詳しいことは、議会事務局へお問い合わせください。

※審議の経過によって、予定の時刻を変更して行うことがあります。

9月定例会の日程（予定）

●開会日	8月25日
●代表質問	9月7日
●一般質問	〃
●一般質問（予備日）	9月8日
●総務産業常任委員会	9月10日
●社会文教常任委員会	9月11日
●決算審査特別委員会	9月14日～16日
●閉会日	9月18日

※詳細は議会事務局にお問い合わせください。

編集後記

6月定例会において、議会の議決を待たずに急ぎの事項を決める「専決処分事項」が審議されました。緊急時や軽微な案件を速やかに処理するための制度ですが、市は専決処分をした後は議会への報告・承認を求めなければなりません。議会はその内容が妥当だったのかをしっかりと検証し、承認しました。これからも市民の皆さまの代表として、市の仕事に適正に行われているか、しっかりと確認してまいります。

（担当：天野 築）

Editorial note

発行 大月市議会
編集 市議会広報委員会

大月市議会事務局
〒401-8601 山梨県大月市大月2丁目6番20号
TEL.0554-23-1057 FAX.0554-23-0321
E-mail gikai-19206@city.otsuki.lg.jp



議会事務局メール
QRコード

市議会
広報委員会

委員長	天野 築
副委員長	藤本 実
委員	鈴木 基方
委員	山地 渉
委員	鈴木 康揮
委員	鈴木 竜児



この市議会だよりは、環境保護のため、再生紙・植物性インキを使用しています。